



令和7年度 SAITAMA社会貢献賞

株式会社デリモ





株式会社デリモ



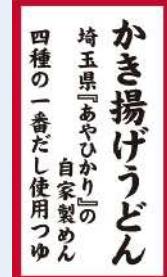
代表者名	代表取締役社長 栗田 慶太郎
設立	1967年7月
所在地	草加市柿木町宝1338-15
主な事業内容	お惣菜の食品製造メーカー
従業員数	250人

株式会社デリモの社会貢献活動



地産地消の取組

埼玉県産小麦や狭山茶、桂木柚子、地元野菜の活用を通じて農業の持続可能性を高め、地元農家の収益安定に貢献しています。「顔の見える小麦」など地域資源の価値を高める取り組みは、地産地消の推進と地域経済の循環にも寄与し、地域資源の可能性を広げる取組をしています。



県内外食店とのコラボ商品の展開

実在する埼玉の人気店と連携し、看板メニューを再現した商品を他県に流通。年間約250万食を提供することで、各店の魅力を「食」で、埼玉ブランドの発信をしています。それは、単なる再現を超えて、創業70年以上の蓄積された技術と開発力と地域愛、埼玉愛の融合が特長です。



地域企業連携による清掃活動

2017年から継続して行ってきた清掃活動は、2025年から近隣の5社（ロピア、シンインターナショナル、とんかつ和幸、共立食品、マルエツ）も参加し、総勢60名体制で活動を実施しています。清掃活動を通じた企業間での連携体制の構築は、交流やネットワークを形成し、地域全体を巻き込んだ持続可能な活動へと発展しています。

株式会社デリモの社会貢献活動



埼玉フードパントリー・ネットワーク等への食材提供 と こども食堂への支援

子どもの健全な成長と地域福祉の向上に、NPO等へ食材の寄附をしています。この支援の輪が広がるように近隣企業にも活動を広げています。

地域に根差す食品企業として、6年間で累計17トンの食材を提供してきました。食品ロス削減と社会貢献の両立を図りながら、実行力ある支援活動を展開しています。

毎月1回のこども食堂で、毎回100食前後のお弁当やお菓子などの提供をしています。



今後に向けて

当社のCSR活動は全社で実行する委員会（名称:エコライフ委員会）がプラットフォームとなり、2017年からスタートしました。環境、社会、地域貢献に関わる課題点を全社で考えて実行する仕組みです。

エコライフ委員会は、若手社員、中堅社員で構成され、フレッシュな目線での改善活動を地域と当社が一体となり活動しています。そのため、少しづつ活動範囲も広がってきています。

2022年、当社は事業拡大に伴い工場を新設移転しました。新たな場所でもエコライフ委員会を中心として、地域、社会、環境に貢献できる企業を目指し、「地球にやさしい」「地域の方に喜ばれる」「従業員が働いてよかった」「お客様の幸せ」の最大化を目指してまいります。